

おかやま 河川だより

自主防災
～ご近所の底力～



太田川水防演習にて(H18.5.21)

みなさんこんにちは。本格的な夏を迎え、海や山が恋しい季節になります。水辺では夏休み本番の子供達の歓声が響いていますが、間もなく台風の季節もやってきます。

さて、最近の気象の凶暴化が気になります。思いもよらぬ災害が全国で多発しています。一方で防災に関する社会資本整備は思うように進まず、少子高齢化等で社会そのものも昔と比べて脆弱になっています。でもせめて命だけは守りたいものです。それには平素からの備えが重要です。今回は「自主防災～ご近所の底力～」というテーマで防災に関する地域との連携活動を集めてみました。読者の皆さんが、自分達の地域は自分たちで守るという強い意志を持ち、果敢な行動を起こすことを期待しています。

この広報紙は、県内市町村の広報コーナー、岡山河川事務所並びに各出張所に置いてあります。また、岡山県内の道の駅及び高速道のサービスエリアにも置いてありますので、ご自由にお持ち帰り下さい。



吉井川



旭川



高梁川

岡山河川事務所
国土交通省 中国地方整備局

自主防災 ~ご近所の底力~



自主防災とは？

水害などの災害が発生しないよう国などの行政機関は、堤防を造ったり、堤防の強化などを行っています。また、災害が発生した場合でも、被害を最小限にいとめるため、防災関係機関が防災活動を行います。

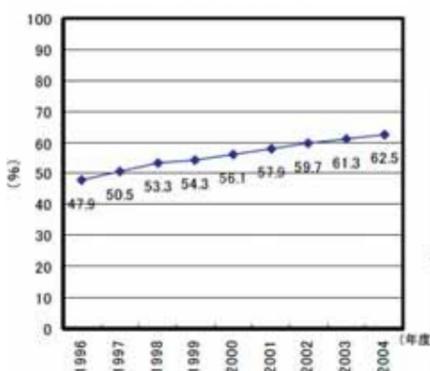
しかし、集中豪雨や地震など、予測を超える災害が発生し、行政のみの活動では、十分に対処できないケースが多発するようになってきました。

そこで、災害から身を守り、財産を守るために、ひとりひとりが災害に対して普段から十分な準備をしておくことが大切です。しかし、個人の力には限界があります。このため、自分たちの身は自分たちで守ろうという精神に基づき、地域の人々が協力し、助け合うことが必要となります。これが自主防災です。通常、町内会や小学校区単位等の地域単位で組織化されています。



自主防災組織の活動は？

自主防災組織率の推移(全国平均)

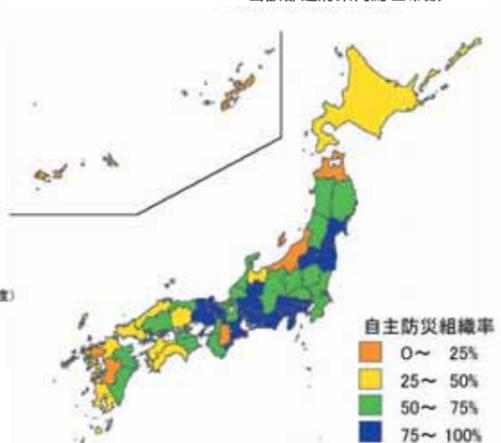


(注) 自主防災組織の活動

- 平常時・・・防災訓練の実施、防災知識の啓発、防災巡視、資機材等の共同購入等
- 災害時・・・初期消火、住民等の避難誘導、負傷者の救出・救護、情報の収集・伝達、給食・給水、災害危険箇所等の巡視等

自主防災組織率(2004年4月1現在)

組織率=各都道府県において、自主防災組織がカバーする世帯数
当該都道府県内総世帯数



(出典) 内閣府「防災白書」、総務省消防庁「地方防災行政の現況」をもとに国土交通省国土計画局作成。

平常時には各家庭への防災対策や組織への参加協力の呼びかけ、災害時要援護者の把握、災害時の行動計画の作成、防災マップの作成や防災資機材の整備、防災訓練の実施などを行います。そして災害時には被害状況の確認、負傷者の救出、避難誘導、物資の分配活動などを行います。

岡山県内の自主防災の組織率は、最新のデータによると43.6%となっており、全国平均の64.5%に比べると大きく遅れています。

自主防災組織をつくるには！

自主防災組織をつくるには、どの範囲(地域)を対象とした組織にするのか、どのような活動を行うのか、リーダーの役割をどこまでにするのか等を定める必要があります。まず地域内で話し合いを進めてみましょう。

又、市町村によっては自主防災組織の支援のための補助金制度がありますので、お住まいの市町村窓口にお問い合わせみましょう。

例) 岡山市自主防災会防災資機材給付事業(岡山市)
自主防災組織設置補助金制度(玉野市)

補助金制度 例: 岡山市の場合
総額10万円を限度として希望の防災資機材を現物支給

防災マップとは？

国などの法令に基づくものではなく、地域住民が主体となって、自治体が提供するハザードマップなどの情報を参考にしながら、地域の実状に応じ、必要な防災情報(避難場所・経路、災害時に役立つもの、危険な場所など)を掲載し作成した地図のことです。

防災マップ作成ガイド「防災マップをつくろう！！」

旭川流域の市町村、岡山県、当事務所で構成する旭川流域連絡協議会では、その活動の中で「流域一体となった地域防災体制の構築」に取り組んでいます。この中で、平成16年度から3地区の自主防災組織(岡山市:操明学区連合自主防災会、建部町:川口自主防災会、真庭市:開田自治会)にモデル地域となっただけ、防災マップの作成を行いました。そして、その過程で得られたマップ作成のノウハウをガイドとしてまとめました。このガイドは、旭川流域の方であればお住まいの市町村の窓口に、それ以外の方は、当事務所にお問い合わせ下さい。なお、当事務所のホームページから、PDF化されたファイルをダウンロードもできますのでご活用下さい。



防災マップをつくるうえで大切な事は？

まず、マップをつくる目的をしっかりと持つことが大切です。次に一人でも多くの地域の皆さんがマップづくりに参画することです。このことは、防災マップを作成することで防災意識を高めることが可能となるからです。



ワンポイントレッスン

岡山平野は災害に弱い？

岡山平野はもともと海であり、干拓により発展してきた歴史があります。このため、平野の殆どが図のように地盤が低く、洪水時には河川水位より低くなっています。治水上危険な場所に都市が発達していることがわかります。

岡山三川下流域の干拓に伴う海岸線の変化



わが国の大部分の都市は洪水時の河川水位より低い



地域でがんばっている人たち…

風倒木対策(美作県民局農林水産事業部森林課)

平成16年の台風23号により、岡山県下では県北を中心に、約5,500haに及ぶ風倒木被害が発生し、その内、美作県民局管内では全体面積の約9割が集中しています。県では、土砂崩れや、それに伴う倒木の流出など、風倒木による二次災害防止のため、平成16年より5カ年計画で約4,500haについて風倒木対策を行う予定で、今年度末で約70%が完了する見込みです。

撤去や整理の終わった箇所には、山腹崩壊防止のため新たに植林を行いますが、従来のスギやヒノキの単一林ではなく、クヌギ・コナラなどの広葉樹を主体とした複合林とし、災害に強い森林の再生を目指しています。対策が完了するまでの当面の間、梅雨や台風によるさらなる被害に備え、風倒木危険箇所マップを作成し、防災関係機関に配布することで情報を共有化し、迅速な災害対応を行うこととしています。

施工前

津山市皿地内



施工後



写真提供:美作県民局

岡山市操明学区連合自主防災会

岡山市操明学区では、平成16年8月の台風により高潮の浸水を受け、深夜に住民が小学校に自主避難するという経験をしました。これは学区始まって以来の被害であったため、その年の11月3日に学区主催の防災訓練を実施し、700名の住民が参加し、土嚢作りなどの訓練をしました。また、旭川流域連絡協議会で進める地域防災力向上支援のモデル地域に選定され、その活動のなかで防災マップを作成し学区内の全戸に配布しました。操明学区は地形的に安全な地域とはいえませんが、「ご近所の底力で自らを守る」という考えのもと、防災力の高い地域を目指す県内のトップリーダーです。



写真提供:岡山市操明学区連合自主防災会



おかやま河川だより第2号「楽しい水辺特集」をご覧頂いた方から沢山のご意見、質問をいただきました誠にありがとうございます。今回も、一部であります但質問にお答えいたします。

楽しい水辺特集についてのご質問

Q1 河川敷で子供とバーベキューや花火をしたいのですが制限や禁止されている場所はあるのでしょうか。

A1

河川敷のバーベキューや花火については、一般的には制限や禁止などはありませんが、下記の点に注意をしていただきたいと思ひます。

地面等に直接に火があたらないようにすること(焼け跡が残り、植生などに悪影響。)

炭、ゴミ等は持ち帰っていただくこと。

煙や灰、騒音などにより付近の住家や他の利用者に迷惑とならないようにすること。

また、河川敷によっては市町村の管理する公園となっている場所があります。場所によっては、花火等は禁止されている場所もありますので、案内看板等をご確認下さい。



吉井川 瀬戸町弓削河川公園

Q2 河川敷でキャンプを行いたいののですが、許可がいるのでしょうか。

A2

河川敷でのキャンプそのものは禁止されていませんので、特に許可をとっていただく必要はありませんが、ゴミの持ち帰り、他の河川利用の方(釣り人など)や付近住民の方々に迷惑のかわらないよう、マナーを守った利用をお願いします。

また、特に夏場は、上流での集中豪雨に伴う急な出水も考えられます。安全には十分気をつけて楽しんでください。iモードで雨量・河川の水位の情報を提供していますのでご参考下さい。アドレスは、<http://i.river.go.jp/>です。より詳しい情報を知りたい方はパソコンを使ってインターネットから、<http://www.river.go.jp>をご覧ください。

Q3 ^{がっこう}水辺の楽校って何ですか？

A3

岡山河川事務所が赤磐市千躰地先に整備した「くまやま水辺の楽校」が平成18年5月30日に開校しました。

「くまやま水辺の楽校」は、最近の屋外で集団で遊ばなくなったり、自然と触れ合う機会が少なくなった子供達の健全な成長を促すため自然体験の場、自然学習の場として自然あふれる水辺を創出したものです。施設の整備にあたり、地域の学校関係者、自治体、地元住民の方々と協議会を設けて8回にわたる討議を行った末に、吉井川の自然を極力生かして、子供達が自然と出会える安全な水辺にしました。



洪水等ハザードマップの整備と普及の推進に向けて

「吉井川下流部災害情報協議会」と「高梁川下流部災害情報協議会」を6月上旬に設置しました。

洪水時の河川氾濫等による被害を軽減するため、自治体が整備する洪水等ハザードマップについての情報交換や、技術支援を目的として新たに設置しました。吉井川と高梁川の直轄区間で河川が氾濫した場合に、浸水被害が及ぶ可能性のある市・町と国土交通省岡山河川事務所が、分かりやすい洪水等ハザードマップの作成と、住民の方へ情報提供する方策について、今後検討を行ってまいります。

旭川については既存の「旭川流域連絡協議会」の中で、洪水等ハザードマップ作成推進のための情報交換等が行われます。

災害時において災害応急対策を行う協力会社が決まりました。

河川管理者は、防災に関して万全の措置を講ずる責務があります。特に災害が発生したり発生しそうな緊急時には、建設機械や資材、労力を確保することが大変困難な状況が想定されます。このため災害を未然に防止したり、被害の拡大防止、また被害施設の早期復旧を目的として、公募により下記業者と協定を締結しました。このことにより、災害があった場合の応急対策が迅速に行われる体制が確保されます。

吉井川	旭川	高梁川
吉井川建設(株)	(株)大本組	(株)片山工務店
(株)岸本組	同和工営(株)	中央建設(株)
蜂谷工業(株)	(株)奥野組	(株)榊原建設
太陽建設(株)	(株)三幸工務店	三宅建設(株)
	中村建設(株)	(株)カザケン

出水期を控え、「水防技術講習会」を行いました。

水防活動は、堤防などを造る河川改修と並ぶ「車の両輪」として、たいへん重要な役割を担っています。このため、出水期を控えた6月11日に、吉井川の高水敷(瀬戸内市邑久町豆地先)において、中国地方防災エキスパートを講師に迎え、岡山河川事務所と瀬戸内市共同による「水防技術講習会」を行いました。なお、平成19年5月には、当箇所において中国地方整備局主催の「水防演習」が予定されています。



(中国地方防災エキスパート)

平成8年1月に「中国地方における地震、風水害などの大規模災害時に、迅速、確実、効果的に対処する」ことを目的として、これまで公共土木施設整備、管理等に長年携わり、一定のノウハウをもった人達に、被災した公共施設等のスピーディな被災情報の収集などにボランティアとして、協力していただく制度です。今年から岡山三川で水系毎にチームが結成され体制が強化されました。

みんなで作ろう「ぼくらの水辺再発見マップ」

みんなで作ろう「ぼくらの水辺再発見マップ」(主催:「川の日」実行委員会、全国地方新聞社連合会、山陽新聞社、後援:国土交通省、岡山県教育委員会ほか)の応募作品の岡山県地方審査会が6月7日、岡山市新屋敷町の山陽新聞社で行われ、最優秀賞1点、優秀賞3点が決まりました。最優秀賞作品は全国コンクールに出品されます。岡山県内の小中学生らから作品の応募があり、最優秀賞に鳥越隆太郎さん(岡山中央中2年)、優秀賞に岡敬太さん(奈義中2年)、こじまそうたさん(岡山中央小1年)、高野裕太さん(荘内小6年)が選ばれました。



選考の様子

みんなの VOICE

今回の「おかやま河川だより」は、自主防災や防災マップ等について紹介しました。

ぜひ、みなさんの地域でも話し合いを進めて自主防災組織を立ち上げてみてはいかがでしょうか。



国土交通省 中国地方整備局 岡山河川事務所
みんなのVOICE係

〒700-0914 岡山県岡山市鹿田町2丁目4番36号
Tel.086-223-5101(代表) Fax.086-222-7835
ホームページ <http://www.okakawa-mlit.go.jp/>